

平成25年3月1日

熊本市長
幸山政史 殿

住所 熊本市中央区
団体名 さわやかボランティアーズ
代表者 職名 会長 氏名 色見



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成24年9月27日付け指令（市協）第57号により、平成24年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

昔から遊ばれている「伝統の遊び」と昔から伝承している行事を地域の子供に普及と指導をする。

2 助成事業の実施期間

平成24年9月27日～平成25年2月28日

3 助成事業の内容

(1)「ボランティア祭り」

平成24年10月27日、熊本農業高校の研修室で実施した。

(2)「ふるさと祭り」

「餅搗き」：平成24年12月26日に嘉島町上仲間63で実施した。

「どんどや」：平成25年1月13日に嘉島町上仲間63で実施した。

4 事業の成果

(1)「ボランティアーズ祭り」

参加者からアンケート（添付資料参照）を取った結果、親御さんからは楽しい時間をありがとう。子供からは大変面白かったとの声があった。子供たちに伝承遊びの面白さを教えたと思う。

(2)「ふるさと祭り」

昔から継承している行事、餅つき、どんどやに子供たち、親御さんを参加させ、伝承行事の継承ができた。子供等から感謝の手紙があった。（添付資料参照）

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式17号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

ア、事業報告書 別紙(1)

イ、事業費 領収書綴 別紙(2)

ウ、助成対象経費・助成対象外経費集計表 別紙(3)

(3) その他参考となる資料

ア、ボランティア祭り・・・実施状況の写真

イ、ふるさと祭り・・・・・・実施状況の写真

ウ、慈愛園園児からの感謝のお手紙の写し

エ、ボランティアーズ祭りのアンケート結果

オ、ボランティアーズ祭りのチラシ

カ、ボランティアーズ祭りの熊本日日新聞掲載の写し

事業報告書

24年度	
事業名	昔から遊ばれている「伝承の遊び」と昔から伝承している行事を地域の子供達に普及と指導をする。
目的	1.「ボランティアーズ祭り」は熊本農業高校において、地域の小学生とその家族を対象に伝統の遊びの普及と指導育成をした。 2.「ふるさと祭り」は子供達に自然に囲まれて遊ぶ楽しさや伝承遊びの面白さを伝え、餅搗きとどんどや行事を通じて親子の絆、地域の絆を学んだ。
事業期間	平成24年9月27日～平成25年2月28日
具体的な事業内容	(1)「ボランティア祭り」 平成24年10月27日、熊本農業高校の研修室を借りて、川尻を中心とした東南部地域の小学生を集めて、伝承遊びを行い指導した。 研修室を8ブロックに分けて、体験コーナーでは皿回し、南京玉すだれ等、工作コーナーでは竹トンボ、マイ箸、布巾作り等、競技コーナーでは竹トンボ大会、木片パズル大会等、物作りと競技を大人の指導のもと小学生に教えた。 助成対象経費の支出は次の通り ◇使用料・賃借費として26,773円(案内のぼり及び基礎ボックス他) ◇消耗品費として62,015円(手芸用、木工用、竹細工用等の材料工具) ◇その他として2,800円(子供等参加者の保険) (2)「ふるさと祭り」 嘉島町上仲間63の民家をお借りして、地域の子供および慈愛園の園児を「どんどや」に招待した。 「餅搗き」：前日(平成24年12月25日)から蒸し器、薪の手配、餅米洗い等の準備作業。当日(平成24年12月26日)は参加者約40名で餅を搗いた。 餡ころ餅、大根おろし、きなこ、たくあん等で餅を食べた。 ◇備品、消耗品として、54,530円(もち米代、餅つき工具他) ◇使用料、として、15,000円(餅つき会場および工具代) 「どんどや」：前日(平成25年1月12日)から藁縄、竹、藁、柴等を準備、当日(平成25年1月13日)はヤグラを組んで火をつけ門松等を焼いた。 ◇消耗品として、3,755円(縄ロープ及び餅焼く炭他) ◇使用料として、15,000円(会場使用料)
活動場所	1.「ボランティアーズ祭り」熊本市南区 県立熊本農業高校 研修室 2.「ふるさと祭り」熊本県嘉島町上仲間63 夢師奇屋
期待される効果	1.①「ボランティアーズ祭り」 熊本日日新聞(H24.10.28 朝刊)で喜んで遊んでいる姿が掲載された。 (その他参考となる資料に写しを添付) ② 参加者からアンケート(添付資料参照)を取った結果、親御さんから楽しい時間をありがとう。子供からは大変面白かったとの声があった。子供たちに伝承遊びの面白さを教えたと判断する。

特に次の効果があったと判断する。

ア、連れてきた子供と大人の絆が増した。

イ、子供が小刀の使い方を習得した。

ウ、子供が伝承遊びを覚えた。

2. 「ふるさと祭り」

昔から継承している行事、餅つき、どんどやに子供たち、親御さんを参加させ、伝承行事の継承ができた。子供等から感謝の手紙があった。
(添付資料参照)

来年度も実施希望が子供たちからも親御さんからもあった。

特に次の効果があったと判断する。

ア、餅つき大会

子供のころにやった昔ながらの臼で搗いた正月用の鏡餅や雑煮用の餅を家族の為に、自分達で用意したことも意義深かった。

イ、どんどや

・古き良き時代の行事を子供達は大変喜んだ。

・どんどやの行事を子供と大人が一緒にすることで信頼関係が増した。

・子供がマッチの使い方を覚えた。

事業収支決算書

項 目		金 額(円)	内 訳	
収 入	自己資金	90,000	会費 (@1,000×90人)	
		0	事業収入 なし	
		0	その他 なし	
	市民公益活動支援助成金	80,000	＜A＞当該事業に対する助成希望額	
	その他の補助金・助成金	0		
	寄付金・協賛金	9,873	会員からの協賛金	
	その他			
合 計		179,873	＜B＞	
支 出	助 成 対 象 経 費	報償費	0	
		役務費	0	
		使用料・賃借費	26,773	ボランティア祭りの会場使用料他
			15,000	餅つきの会場使用料
			15,000	どんどやの会場使用料
		備品費・消耗品費	62,015	ボランティア祭り消耗品のみ、
			54,530	餅つき大会の餅米代他
			3,755	どんどやの会場使用料縄ロープ他
		旅費	0	
		その他	2,800	ボランティア祭りのボランティア保険
		小 計	179,873	＜C＞
	助 成 対 象 外 経 費	使用料・賃借費	0	どんどやの会場使用料賃借費
			0	餅つき大会の会場使用料
		備品費・消耗品費	0	どんどやの備品消耗品
			0	餅つき大会備品・消耗品
小 計		0	＜D＞	
合 計		179,873	＜C＞+＜D＞=＜B＞	

助成率 = 44%